

資料編

1 団体ヒアリングの結果とりまとめ

(1) 対象団体

団体名	
NPO こどもサポート・みんなのおうち	NPO 法人クラブおおづ
大津町スポーツ推進委員会	大津町区長会
NPO 法人あぼり	大津町食生活改善推進員協議会
菊池食品衛生協会大津支会	大津町民生委員児童委員協議会
菊池郡市歯科医師会	大津町老人クラブ連合会

(2) 結果の概要

【大津町の各種団体・機関が実施している健康づくりに関する各分野の取り組み・課題】

分野	取り組み	課題
健診 疾病対策	<ul style="list-style-type: none"> 健康推進運動教室の開催 体成分測定会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 競技スポーツの栄養相談には対応できるが、管理栄養士を雇用していないので、疾患対策の栄養指導に関しては町の声を反映できない
栄養 食生活	<ul style="list-style-type: none"> 料理教室の開催（男性向け、働き世代向け、郷土料理） 正しい食生活の指導 栄養士会と協力し、食事や栄養の指導 	<ul style="list-style-type: none"> 食事を自分で作るという意識が薄れてきている 高齢者への食生活の啓発が必要 食生活の見直しを支援する環境が必要
身体活動 運動	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病予防運動教室の開催 健康推進運動教室の開催 体成分測定会の実施 正しい運動習慣を身につけるための助言 	<ul style="list-style-type: none"> 気軽に運動できる場所が少ない 活動拠点まで足を運ばない方（高齢者、障がいをお持ちの方）へのアプローチをかけづらい 運動施設に通う際の付加価値が他の町と比べると乏しい 高齢者になるにつれて運動習慣がある人が少ない 運動施設への移手段の確保が難しい

分野	取り組み	課題
こころの健康	<ul style="list-style-type: none"> ・運動を通じた心の健康の維持活動 ・電話や直接の相談の受け付け 	—
高齢者の健康	<ul style="list-style-type: none"> ・健康推進運動教室の開催 ・通いの場運動教室の開催 ・ミニデイサービスでの栄養教室の開催 ・口腔フレイルの対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者は運動教室のようにグループで定期的に行わないと、運動が習慣化できない方が多い ・町内に以前から在住されている方へのサポートの充実 ・集まりの参加者が固定されている ・広報の充実が必要
歯・口腔の健康	<ul style="list-style-type: none"> ・歯磨きの習慣づけの指導 ・子育て中の親への指導 ・1歳半、3歳児健診への協力 ・各種健診の実施（保育園、幼稚園、小中高の定期健診、妊婦健診、後期高齢者健診、歯周病健診、企業健診） 	<ul style="list-style-type: none"> ・健診の受診率の向上 ・指導したことなどの実施状況が把握できない
飲酒・喫煙	<ul style="list-style-type: none"> ・歯周病と喫煙に関する啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己責任による嗜好品の点から周知徹底させることが難しい
健康経営	<ul style="list-style-type: none"> ・企業向け体成分測定会の実施 ・企業健診への参加 ・歯科特殊健診 ・企業健診のツールの企画 ・産業歯科医研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい企業が町に参入するにあたり、大津町在住の方の割合が少なく、企業に健康づくりに対して呼びかけた後のフォローアップが取りづらい ・企業からの一方通行的な依頼が多いため、団体から企業への啓発も必要

【他団体や地区組織や行政と連携し取り組みたいこと】

- ・老人会等と連携し、高齢者に対してニュースポーツ等の普及を行うことで、運動機能の向上を図る。
- ・福祉まつりや共同募金を社会福祉協議会と協働する。
- ・医師会と周術期の口腔ケアなどの医療連携を図る。
- ・行政と福祉の取り組み分野や青少年育成分野で連携する。
- ・行政と連携し、運動公園を使用した大規模イベントを実施する。
- ・行政と連携し、歯科保健連絡協議会を開催する。

2 第三次計画からの変更点

●住民アンケートや団体ヒアリングを実施しました

- ・住民や地域の団体の皆様にアンケートを実施し、集計結果やご意見を計画に反映しました。

●SDGs の視点を取り入れました

- ・SDGs は平成 27（2015）年9月の国連サミットで採択された、「誰一人取り残さない」持続可能でより良い社会の実現を目指す世界共通の目標です。第4次計画ではそれぞれの目標の視点を取り入れた計画を策定しており、SDGs の推進を行っていきます。

●第6次大津町振興総合計画後期基本計画を踏まえた計画を策定しました

- ・第6次大津町振興総合計画後期基本計画に記載された現状や課題を踏まえ、施策の方針に沿った数値目標や取り組みを健康づくり推進計画に盛り込みました。

●現行の取り組みを計画に反映しました

- ・第4次健康づくり推進計画には現在実施している体成分測定会などを盛り込んでおり、今後も住民の皆様々の健康づくりに効果的な事業を実施・継続してまいります。

3 大津町健康づくり推進計画策定委員会設置要項

○大津町健康づくり推進計画策定委員会設置要項

平成20年1月4日

要項第27号

(設置)

第1条 住民の健康づくり推進のため、大津町健康づくり推進計画策定委員会（以下「策定委員会」という。）を設置する。

(任務)

第2条 策定委員会は、次に掲げる事項について調査・検討を行い、意見を述べる。

- (1) 大津町健康づくり推進計画策定に関すること。
- (2) 前号に掲げる計画の進行管理に関すること。

(組織)

第3条 委員は、次の各号に掲げる者のうちから町長が委嘱する。

- (1) 学識経験者
- (2) 地域住民代表者
- (3) その他町長が必要と認めた者

2 委員の任期は、2年とし、欠員が生じた場合の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長等)

第4条 策定委員会に、委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長及び副委員長は、委員の互選により選出する。
- 3 委員長は、委員会を招集し、会議の議長となる。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故ある時はその職務を代理する。

(関係者の出席)

第5条 委員長は、必要に応じて関係者の出席を要請し、意見を求めることができる。

(庶務)

第6条 策定委員会の庶務は、健康保険課で処理する。

(委任)

第7条 この要項に定めるもののほか、策定委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

附 則

この要項は、公布の日から施行する。

附 則（平成26年3月25日要綱第7号）

- 1 この要綱は、平成26年4月1日から施行する。

4 大津町健康づくり推進計画策定委員会委員名簿

大津町健康づくり推進委員会策定委員会委員名簿

(順不同・敬称略)

団体名	氏名	
大津町区長会	甲斐 徹也	委員長
大津町食生活改善推進員協議会	西 スエ子	
菊池食品衛生協会大津支会	本田 敏次	
大津町商工会	山室 美紀	
在宅栄養士	三池 裕子	
菊池地域農業協同組合大津中央支所	錦野 淳子	
大津町民生委員児童委員協議会	益田 知郎	
大津町スポーツ推進委員会	中野 順子	
NPO 法人 クラブおおづ	樋口 秀一郎	

第1章
計画策定にあたって第2章
大津町の現状第3章
計画の基本的な考え方第4章
分野別の取り組み

1

2

3

4

第5章
計画の推進

資料編

5 大津町健康づくり推進計画策定経過

年月	内容
令和5（2023）年 7月10日～ 8月10日	町民アンケート調査の実施
令和5（2023）年 8月7日～ 8月25日	団体ヒアリング調査の実施
令和5（2023）年 9月29日	【令和5年度第1回大津町健康づくり推進計画策定委員会】 ・「大津町健康づくり推進計画（第三次）」の進捗状況の報告 ・町民アンケート調査の結果報告 ・「大津町健康づくり推進計画（第4次）」骨子案について
令和5（2023）年 12月18日	【令和5年度第2回大津町健康づくり推進計画策定委員会】 ・「大津町健康づくり推進計画（第4次）」素案について ・「大津町健康づくり推進計画（第4次）」数値目標について
令和6（2023）年 1月25日～ 2月26日	パブリックコメントの実施
令和6（2023）年 2月28日	【令和5年度第3回大津町健康づくり推進計画策定委員会】 ・パブリックコメントの結果について ・「大津町健康づくり推進計画（第4次）」素案について

6 用語説明

あ行

●悪性新生物

悪性の腫瘍のこと。細胞が何らかの原因で変異して増殖を続け、周囲の正常な組織を破壊する腫瘍で、がんや肉腫等が該当する。

●う歯 ※再掲

う蝕状態にある歯のこと。

●う蝕 ※再掲

むし歯のこと。歯の硬組織の表面が細菌の酸産生により崩壊され、エナメル質やセメント質から象牙質へと進行し、実質欠損を形成する代表的な歯の疾患。

か行

●共食

家族と仲間、地域の人等と食を共にすること。「一緒に食べる」という行動だけでなく、一緒に食事の準備をしたり、食後に感想を話したりすること等も含まれる。

●ゲートキーパー

悩んでいる人（自殺の危険を示すサイン）に気づき、声をかけ、話を聴いて必要な相談窓口につなげ、見守る人のこと。

●健康格差

地域や社会経済状況の違いによる集団間の健康状態の差のこと。

●健康寿命

健康状態で生活することが期待できる平均期間またはその呼称。「健康日本 21（第二次）」では、健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間と定められている。

●合計特殊出生率

15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が仮にその年次の年齢別出生率で一生涯の間に生むとしたときの子ども数に相当する。

さ行

●脂質異常 ※再掲

血液中の脂質の値が基準値から外れた状態。

●歯周病

歯肉、歯槽骨、歯根膜およびセメント質等の歯周組織に起こる病気の総称で、歯周疾患とも呼ばれており、歯肉炎と歯周炎に大別される。

●社会福祉協議会

民間の社会福祉活動を推進することを目的とした営利を目的としない民間組織。地域が抱えるさまざまな福祉課題の解決を目的として活動を行っている。

●受動喫煙

たばこの煙には、本人が吸う「主流煙」と、たばこの先から立ちのぼる「副流煙」とがある。煙には多くの有害物質が含まれているが、その量は主流煙よりも副流煙のほうに、数倍から数十倍も多いことがわかっている。この副流煙を、自分の意思とは無関係に吸い込んでしまうことを「受動喫煙」と呼ぶ。

●食育 ※再掲

さまざまな経験を通じて、食に関する知識と食を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てること。

●心疾患

心臓の冠動脈が動脈硬化等の原因で狭くなったり、閉塞したりして心筋に血液が行かなくなることで起こる疾患の総称。

●生活習慣病

食事や運動、休養、喫煙、飲酒などの生活習慣が深く関与し、それらが発症の要因となる疾患の総称。がんや心臓病、脳卒中は、生活習慣病に含まれる。

●セーフティネット

あらかじめ予想される危険や損害の発生に備えて、被害の回避や最小限化を図る目的で準備される制度やしくみ。

た行

●特定健診 ※再掲

特定健康診査の略称。循環器疾患や糖尿病等の生活習慣病予防の目的で、メタボリックシンドロームの状態を早期に発見するため、各医療保険者に義務付けられた健康診査のこと。40歳以上74歳以下の被保険者およびその被扶養者が対象。

●特定保健指導 ※再掲

特定健診の結果により、生活習慣病のリスクが一定程度高いと判断された者に対して行われる保健指導のこと。保健指導に関する専門的知識及び技術を有する医師、保健師、管理栄養士により行われる。

な行

●乳幼児突然死症候群（SIDS） ※再掲

何の予兆や既往歴もない赤ちゃんが睡眠中に突然死に至る病気のこと。

●年齢調整死亡率

年齢構成の異なる地域間で死亡状況の比較ができるように年齢構成を調整した死亡率のこと。

●脳血管疾患

脳の血管のトラブルにより、脳細胞が破壊される疾患の総称。

は行

●標準化死亡比（SMR）

人口（年齢）構成の違いを除去して死亡率を比較するための指標。年齢調整死亡率の算出に必要な年齢階級別死亡率が得られない場合や、人口規模の小さい集団で年齢階級別死亡率の偶然変動が大きい場合の年齢調整の手法として用いられる。

●フードロス

売れ残りや食べ残し、期限切れ食品など、本来は食べることができたはずの食品が廃棄されること。

●フレイル ※再掲

加齢により心身が老い衰えた状態。

●平均寿命

0歳における平均余命のこと。

●平均自立期間

日常生活が要介護でなく、自立して暮らせる生存期間の平均のこと。

ま行

●メタボリックシンドローム ※再掲

内臓肥満に高血圧・高血糖・脂質代謝異常が組み合わさることにより、心臓病や脳卒中などになりやすい病態を指す。単に腹囲が大きいだけでは、メタボリックシンドロームにはあてはまらない。

ら行

●ロコモティブシンドローム ※再掲

運動器の障がいにより寝たきりや介護が必要になったり、その危険性が高い状態のこと。

英字

●BMI ※再掲

Body Mass Index (ボディ・マス・インデックス) の略称である。肥満度を表す指標として、肥満や低体重(痩せ)の判定に用いられる。《算出方法》 $BMI(kg/m^2) = \text{体重}(kg) \div (\text{身長}(m) \times \text{身長}(m))$

●COPD (慢性閉塞性肺疾患) ※再掲

たばこの煙などの有害物質を習慣的に吸い込むことにより、肺に持続的な炎症が生じる病気のこと。

●HbA1c ※再掲

赤血球中のヘモグロビンという色素のうちどれくらいの割合が糖と結合しているかを示す検査値のこと。ふだんの血糖値が高い人はHbA1c値が高くなり、ふだんの血糖値が低い人はHbA1c値も低くなる。

●i-check ※再掲

「自己肯定感」や「ソーシャルスキル」などのさまざまな視点で、子どもの個性や背景、今の心の状態を把握するための調査。

●LDL コレステロール

悪玉コレステロールのこと。必要以上に多くなると、血管壁にコレステロール等がたまり、血管壁が厚くなることで動脈硬化の原因となる。

●NGSP 値 ※再掲

HbA1c 値を表す国際標準値のこと。

●SC (スクールカウンセラー)

「心の専門家」として、児童・生徒に対する相談のほか、保護者及び教職員に対する相談、教職員等への研修、事件・事故等の緊急対応における被害児童・生徒の心のケアなどの業務に携わる、児童・生徒の臨床心理に関して高度に専門的な知識・経験を有する者のこと。

●SSW (スクールソーシャルワーカー)

福祉の専門性を持ち、児童・生徒の最善の利益を保障するために、学校などにおいてソーシャルワークをおこなう専門職のこと。不登校やいじめ、暴力行為や児童虐待、友人関係や非行・不良行為、教職員などとの関係や心身の健康に関する問題など、幅広い問題についての支援を行う。

数字

●8020 (ハチマル・ニイマル) 運動

厚生省(当時)と日本歯科医師会が平成元(1989)年より推進している「80歳になっても20本以上自分の歯を保とう」という活動。

大津町健康づくり推進計画（第4次）

発行年月：令和6（2024）年3月

発行：大津町役場 健康福祉部 健康保険課

〒869-1233 熊本県菊池郡大津町大字大津 1156 番地3

（大津町子育て・健診センター内）

TEL:096-294-1075 FAX:096-294-6300